

科目	化学	単位数	4	学年	3	学級	AB系 CD系	学科	普通科 国際教養科
----	----	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	物質について学習することで化学的なものの見方を身に付け、物質の循環や自然界の調和といった視点から人生観や世界観を築いていく。
使用教科書 副教材等	化学(実教出版) 副教材:アクセスノート 化学(実教出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	物質の状態と平衡	気体・液体・固体の性質から物質の状態変化, 状態間の平衡, 溶解平衡および溶液の性質について学習する。 物質の沸点, 融点を分子間力や化学結合と関連させて理解する。 また気体の体積と圧力や温度との関係を気体の状態方程式を用いて計算できるようにする。
	5		結晶の構造を理解する。 溶液のしくみ, 溶解度を溶解平衡と関連づけて理解する。
	6		物質の変化と平衡
	7	無機物質	化学エネルギーの概念を理解し, 反応熱発生のしくみを理解する。 電気分解が酸化還元反応であることを学習し直し, 電気量と反応の変化量との関係を考えられるようにする。
	9		また, 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを再度学習する。 化学反応の仕組みを学習し, 反応速度について考える。
			可逆反応, 化学平衡および化学平衡の移動といった普遍の法則について理解する。 電離平衡の概念を学習し, pHについてもさらに深く学習する。
後期	10	有機化合物	非金属元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連させ理解する。 金属元素の単体と化合物の性質や反応について学習し, 金属イオンの分離を理解する。
	11		有機化合物の分類と特徴を理解する。 アルカン, アルケン, アルキンといった基礎的な物質から脂肪族炭化水素, 酸素を含む脂肪族化合物の性質や反応についても学習する。 芳香族化学物の構造, 性質および反応についても整理して学習する。
	12	高分子化合物	天然および合成高分子化合物の構造や性質を理解し, 生体内や私たちの生活の中でどのように役立っているのかについて学習する。
	1		

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への取り組み方、ノートを取り方、出席状況など
	思考・判断・表現	授業中の発言内容、実験レポートの内容など
	観察・実験の技能	観察実験時の集中力、器具の操作の仕方、実験レポートの内容など
	知識・理解	定期考査、小テスト、課題など
	評価方法	定期考査70% 小テスト、課題20% 授業への取り組み(出欠席、ノート、発言、観察実験)10%
担当教諭から		化学基礎の続きで理解しやすいと内容だと思います。副教材を活用して自主学習に取り組みましょう。